
平成 28 年 北海道建築士会 第 2 回青年委員会 報告書

開催日時 : 平成 28 年 8 月 20 日 (土) 14:00~17:00

開催場所 : 事務局会議室 (札幌市中央区大通西 5 丁目 大五ビル 6 階)

出席者 : 石塚、原、工藤、丹波、大浦、伊井、小林、渡辺、鈴木、朝倉 (欠席者 : なし)
岡本、針ヶ谷常務理事

報告者 : 石塚

≪協議事項≫

1. 来年の青年建築士の集いについて (石塚) 【14:00~14:10】

(1) 選抜戦にするかブロック開催にするかについて、各ブロックの意見

- 道央 : 第二回協議会がまだなので皆の意見は聞いていない
- 道北 : 第二回協議会がまだだが、来年は旭川を予定している
- 道南 : 来年のつどいは苫小牧になる可能性が高いので、地元開催になると苫小牧は困ると思う
- 道東 : 選抜戦で良いと思う

以上の各ブロックの意見を踏まえて、話し合ったところ来年は今年と同じく選抜戦とすることで決定した。

2. 全国フォーラムについて (工藤) 【14:10~14:25】

(1) 進捗状況や参加メンバーなど

- フォーラムの発表及び資料作成は石塚が担当 (9 月末 締切)
- 全国大会の参加メンバーは下記の通り
 - ・ 札幌 3 名
 - ・ 旭川 2 名
 - ・ 函館 2 名
 - ・ 石塚

3. 全道大会 (青年サミット) について (渡辺) 【14:25~14:45】

- 担当 ◎渡辺、朝倉、伊井
- 日時 平成 28 年 9 月 30 日 (金)
- 場所 室蘭建設会館 1 階 大会議室
- 内容 「鉄のまち室蘭からものづくりの原点を感じる」

石炭の積出港として発展した室蘭の鉄鋼業の始まりは、1900年代初めに日本製鋼所と現在の新日鉄住金 室蘭製鐵所が設立されたことによります。鉄工業が発展すると同時に街も発展し、人口は昭和45年に16万人のピークをむかえ、その後、他の地方都市と同様に産業の衰退、社会情勢の変化と共に人口も減り、空き家問題、少子高齢化などの問題を抱えます。しかし、優れた技術・技能と人材が集まり、『ものづくり』の街としての歴史は今もなお刻まれています。

市ではH14年には開港140年市制施行80年を記念し、21世紀に相応しい『ものづくりのマチ』へ向けて進むことを宣言しています。どんな時代になっても『ものづくり』は、人々の思いや夢をカタチにする大切な役割を担います。

『ものづくり』の現場を体感することにより、我々青年建築士も建築を通して、人々の思いや夢をカタチにする『ものづくり』の原点を感じたいと思います。

○タイムテーブル

- 13：00～13：30 受付
- 13：30～14：00 挨拶、進行説明
- 14：00～14：15 バス移動（新日鉄住金構内へ）
- 14：20～16：20 新日鉄住金構内見学（高炉、棒鋼工場）
- 16：20～17：20 室蘭市内見学（絵鞆小学校、白鳥大橋、等）
- 17：25～17：30 総評、事務連絡
- 18：30～20：30 懇親会

○協議事項

- ・ 総合司会は渡辺委員が担当
- ・ 当日の服装や荷物の管理等について、事前に ML で配信する
- ・ 保険の加入を検討（渡辺委員）
- ・ 景色がきれいな展望台で記念撮影をするのが良いのでは……

4. 全道大会（C分科会）について（工藤）【14:45～16:40】

○担当 ◎工藤、原、大浦

○日時 平成 28 年 10 月 01 日（土）

○場所 室蘭市 蓬莱殿 1 階 明庭の間

○内容 東日本大震災から 5 年、被災地の復興が進む今でも各地で台風・大雨・地震・火山噴火などの災害が起きています。北海道も例外ではなく、根室での高潮被害やオホーツク管内で起こった暴風雪も記憶に新しい所です。災害による被害を最小限にとどめるには、災害にどう備えるか・いざという時にどう行動するのかを日頃から考えておくことが大切です。C分科会では、建築士として防災・減災のために、仕事の中で又は地域の中で出来ることは何かを考え、被災した時にどう行動すれば良いかを避難所運営ゲーム（HUG）を通して考えていきます。

○タイムテーブル

- 12：15～12：30(15) 受付（受付 2 名、会計 1 名）
- 12：30～12：50(20) 挨拶・進行説明
- 12：50～14：10(80) 避難所運営ゲーム（HUG）
- 14：10～14：25(15) 各班発表
- 14：25～14：30(05) 総評・事務連絡
- 14：30 閉会

○協議事項

- ・ 必要備品について → 石塚が道の HUG セットを事前に借りておく
- ・ 当日のシナリオの確認
- ・ 役割分担について ①メイン司会 & 全体しきり：原
②進行説明：工藤（TM 兼任）
- ・ 各テーブルの人数をどうするか？

- 8~10名 × 10テーブル程度で検討する
- ・ 体育館の縮尺は縮小せずにスケールを合わせた方がよいのでは
- ・ セミナーで使った実際の小学校の図面より、モデル化された簡単な図面の方がよいのでは
- ・ 配置図はあったほうがよい
 - 配置図（グラウンド）：A2
 - 校舎平面図（モデル化2階）：A2
 - 体育館平面図：A1 ※プリントアウトは丹波委員が担当
- ・ ゲーム終了後の振り返りの時間が大切なので、時間配分の再検討が必要では・・・
 - 反省会を15分程度、2~3人から感想をもらう時間を5分程度とする
- ・ 各テーブルに2名はHUGをわかっている人が必要では・・・
 - 各ブロックでHUGの経験者をリストアップして、サブTMとして配置させる
- ・ TM用のレジュメが必要
- ・ 最後に記載する「まとめシート」を作成する
 - （家の損壊状況を考慮したか、ペット、通路、車、人数の把握、物資の把握、トイレ、明るさ、ストーブ、別室にする必要のある人……等）
- ・ リーダーは持ち回りにして、「次はあなたが決めてください」というようにする
- ・ 事前に借りたHUGカードをスキャンして、どのような項目があるか予習をする（石塚が担当）
- ・ 青年委員の集合は例年よりも早めの10:00とする

5. その他（石塚）【16:40~17:00】

- （1）連合会からの報告（針ヶ谷・工藤）
 - ・ 8/26 東京で会議がある
 - ・ 安田委員長が全道大会に参加する予定
- （2）各ブロック協議会について（石塚）
 - ・ 道央：8/27 第二回（小樽） / 11/12 又は 19 第三回（後志）
 - ・ 道南：11/12 又は 19 第三回（お仕事体験イベント）
 - ・ 道東：11/? 第三回（紋別）
 - ・ 道北：8/27 第二回（名寄） / 11/中 第三回（旭川）
- （3）会誌原稿について（石塚）
 - ・ 次回の青年の窓は朝倉委員に依頼
- （4）東西アスファルト様からの助成金について（石塚）
 - ・ 助成金についての決定事項を青年委員に説明